

第1回
「借金王ランキング」
調査

2021 年9月

あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社

<https://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第1回「借金王ランキング」調査

2. 調査方法

決算書の分析結果に基づく調査

3. 調査対象決算期

2021年6月2日時点で開示されていた2020年4月期決算以降の最新決算

4. 調査対象企業

決算短信提出企業

5. 調査対象企業数

3,151社(金融機関を除く)

1. 調査結果

[1] 「借金王ランキング」調査／ランキング結果

決算短信記載の有利子負債を基に集計したところ、ランキング1位は「トヨタ自動車」(有利子負債 25 兆 6,596 億円)であった。次いで「ソフトバンクグループ」(同 18 兆 5,130 億円)が2位、「本田技研工業」(同7兆 7,210 億円)が3位となり、以下「日本電信電話」(同7兆 6,243 億円)、「日産自動車」(同7兆 4,802 億円)、「オリックス」(同7兆 419 億円)、「ソフトバンク」(同5兆 6,926 億円)と続いた。

上位 20 社の業種としては、自動車製造業、物品賃貸業、通信業、各種商品卸売業、電気小売業が3社ずつランクインした。また、自動車製造業と通信業においては上位7社までに3社ずつランクインしており、有利子負債の多さが目立つ結果となった。(図表 A)

また、上位 20 社において売上規模と有利子負債を比較したところ、上位 20 社のうち 12 社が年商以上の有利子負債を有する結果となった。上位企業には装置産業が多く、設備投資に要する借入金が嵩みやすいことが要因といえる。

なお、トップ 100 については、図表Bにまとめた。

[2] 「借金王ランキング」調査／上位企業 安全性分析

有利子負債上位 20 社の「現預金」、「借入依存度」、「自己資本比率」について分析したところ、現預金では「トヨタ自動車」、「ソフトバンクグループ」、「楽天グループ」、「本田技研工業」、「日産自動車」が上位となり、上位 20 社中9社が1兆円超の手元資金を有していることがわかった。

現預金と月商を比較した現預金回転期間(現預金÷月商)は、リスクモンスターの倒産確率分析において高リスクが表れる「1か月未満」の企業は 20 社中2社のみであり、上位にランクインした企業の安全性がうかがえる。

借入依存度(総借入÷総資産×100)は、業種特性として借入金が嵩みやすい物品賃貸業と不動産業に該当する4社を除いて集計を行ったところ、リスクモンスターの倒産確率分析において高リスクが現れる「50%超」の企業は 16 社中1社のみであった。借入依存度が 50%を超過した場合に、金融機関からの追加融資が厳しくなるケースが多いことを考慮すると、上位にランクインしている企業においては、資金調達余力を残した状態で借入を行っている様子がうかがえる。

自己資本比率においては、リスクモンスターの倒産確率分析において高リスクが表れる「30%未満」の企業は 20 社中 12 社あり、自己資本比率の面では高リスクの企業が半数を超える状態となっているが、言い換えれば、財務レバレッジ(総資産÷自己資本)を効かせることで収益拡大につなげているという見方もできよう。(図表C)

[3] 「借金王ランキング」調査／EBITDAランキング

上場企業全体の収益力を図るため、EBITDAを集計したところ、ランキング1位は「トヨタ自動車」となり、「日本電信電話」が2位、「ソフトバンクグループ」が3位、以下「ソフトバンク」、「KDDI」と続いた。

有利子負債企業ランキング上位企業と、EBITDAランキングを比較したところ、11 社が両方にランクインしており、借入金と収益力との間に相関性がうかがえる結果となった。(図表 D)

※EBITDA＝営業利益(税引前当期純利益＋特別損益＋支払利息)＋減価償却費

[4] 「借金王ランキング」調査／前年同期比分析

ランキング上位 20 社における前年度との有利子負債増減額を集計したところ、増加が 15 社、減少が 5 社となった。

有利子負債の増減ランキングを集計したところ、増加先には「ソフトバンクグループ」、「トヨタ自動車」、「日本電信電話」が上位となり、有利子負債企業ランキング上位企業が 8 社ランクインした。一方、減少企業上位は「武田薬品工業」、「三井物産」、「キヤノン」が上位となり、有利子負債企業ランキング上位 5 社がランクインした。(図表 E)

また、上場企業においては、有利子負債が増加した先(1,965 社)は減少した先(1,186 社)を上回っており、全体の 62.3%の企業で有利子負債が増加している。先行きが不透明なコロナ禍において、運転資金確保のほか、不測の事態に備える企業が増加したことが要因と思考される。(図表 F)

2. 総評

企業が借金をする目的は、事業拡大と運転資金確保の 2 つに分けられる。一方、返済の目途が立たず資金繰りが限界に達すると倒産に至ることから、借金の多寡は倒産リスクに直結するといえよう。本レポートは、企業が保有する有利子負債を集計し、安全性・収益性の観点から分析を実施したものである。

第 1 回借金王ランキングのトップは「トヨタ自動車」であった。トヨタ自動車は、分析対象とした 3 つの財務指標(現預金回転期間、借入依存度、自己資本比率)において、いずれも安全性の高い水準で推移しており、多額の借入金を有しつつ高い安全性を維持していることが分かる。また、EBITDAランキングにおいてもトップであり、財務レバレッジを効かせた高い収益力を有しているといえよう。

借金王ランキング第 2 位の「ソフトバンクグループ」は、現預金回転期間 9.9 か月と潤沢な手元資金を有しているほか、EBITDAランキングでは第 3 位にランクインしており、有利子負債を上手く活用して収益につなげている企業であるといえよう。

無計画な借金は倒産リスクの上昇につながることから、綿密な事業計画のもとで、計画的な資金調達を行うことが重要である。その観点では、本ランキング上位企業は、借入金額は多いものの、安全性の低い企業はほとんど見られず、調達した資金を活用してキャッシュの創出につなげている点で、借金を上手に運用している企業といえよう。

上場企業だけでなく中小企業にとっても、資金調達の方法・金額・タイミングは極めて重要な経営判断である。各企業が倒産リスクを見極め、適切な借入によって安全性と企業価値を高めることで、停滞した日本経済を活性化することに期待したい。

図表A 第1回「借金王ランキング」調査／ランキングベスト20

順位	企業名	都道府県	業種	有利子負債	売上高
1	トヨタ自動車	愛知県	自動車製造業	25兆6,596億円	27兆2,146億円
2	ソフトバンクグループ	東京都	通信業	18兆5,130億円	5兆6,282億円
3	本田技研工業	東京都	自動車製造業	7兆7,210億円	13兆1,705億円
4	日本電信電話	東京都	通信業	7兆6,243億円	11兆9,440億円
5	日産自動車	神奈川県	自動車製造業	7兆4,802億円	7兆8,626億円
6	オリックス	東京都	物品賃貸業	7兆419億円	2兆2,927億円
7	ソフトバンク	東京都	通信業	5兆6,926億円	5兆2,055億円
8	三菱商事	東京都	各種商品卸売業	5兆6,443億円	12兆8,865億円
9	武田薬品工業	東京都	化学工業	4兆6,354億円	3兆1,978億円
10	三菱HCキャピタル	東京都	物品賃貸業	4兆5,287億円	8,943億円
11	東京電力ホールディングス	東京都	電気小売業	4兆4,958億円	5兆8,668億円
12	三井物産	東京都	各種商品卸売業	4兆4,930億円	8兆0,102億円
13	東京センチュリー	東京都	物品賃貸業	4兆2,193億円	1兆2,002億円
14	関西電力	大阪府	電気小売業	3兆8,916億円	3兆924億円
15	東日本旅客鉄道	東京都	鉄道業	3兆6,125億円	1兆7,646億円
16	楽天グループ	東京都	インターネット附随サービス業	3兆5,234億円	1兆4,555億円
17	住友不動産	東京都	不動産賃貸業・管理業	3兆2,483億円	9,175億円
18	伊藤忠商事	東京都	各種商品卸売業	3兆1,553億円	10兆3,626億円
19	九州電力	福岡県	電気小売業	3兆1,080億円	2兆1,318億円
20	三井不動産	東京都	不動産賃貸業・管理業	3兆808億円	2兆76億円

図表 B 第1回「借金王ランキング」調査／ランキングベスト100

順位	企業名	有利子負債	順位	企業名	有利子負債
1	トヨタ自動車	25兆6,596億円	51	北海道電力	1兆2,746億円
2	ソフトバンクグループ	18兆5,130億円	52	大和ハウス工業	1兆2,720億円
3	本田技研工業	7兆7,210億円	53	KDDI	1兆2,446億円
4	日本電信電話	7兆6,243億円	54	三菱重工業	1兆2,360億円
5	日産自動車	7兆4,802億円	55	INPEX	1兆2,348億円
6	オリックス	7兆419億円	56	パナソニック	1兆1,895億円
7	ソフトバンク	5兆6,926億円	57	近鉄グループホールディングス	1兆1,822億円
8	三菱商事	5兆6,443億円	57	東急	1兆1,822億円
9	武田薬品工業	4兆6,354億円	59	阪急阪神ホールディングス	1兆516億円
10	三菱HCキャピタル	4兆5,287億円	60	昭和電工	1兆354億円
11	東京電力ホールディングス	4兆4,958億円	61	野村不動産ホールディングス	1兆85億円
12	三井物産	4兆4,930億円	62	プリDESTON	1兆11億円
13	東京センチュリー	4兆2,193億円	63	商船三井	9,931億円
14	関西電力	3兆8,916億円	64	神戸製鋼所	9,878億円
15	東日本旅客鉄道	3兆6,125億円	65	東京建物	9,743億円
16	楽天グループ	3兆5,234億円	66	日本たばこ産業	9,589億円
17	住友不動産	3兆2,483億円	67	東京瓦斯	9,396億円
18	伊藤忠商事	3兆1,553億円	68	東レ	9,333億円
19	九州電力	3兆1,080億円	69	アイシン精機	9,251億円
20	三井不動産	3兆808億円	70	西武ホールディングス	9,134億円
21	住友商事	2兆9,122億円	71	日本酸素ホールディングス	9,126億円
22	イオン	2兆7,523億円	72	小松製作所	9,100億円
23	日本製鉄	2兆5,592億円	73	双日	9,083億円
24	三菱地所	2兆5,240億円	74	協和キリン	9,025億円
25	丸紅	2兆4,339億円	75	北陸電力	8,876億円
26	クレディセゾン	2兆4,295億円	76	クボタ	8,744億円
27	日立製作所	2兆3,973億円	77	NECキャピタルソリューション	8,734億円
28	三菱ケミカルホールディングス	2兆3,495億円	78	デンソー	8,542億円
29	芙蓉総合リース	2兆3,301億円	79	日本郵船	8,540億円
30	東北電力	2兆1,425億円	80	東武鉄道	8,296億円
31	中部電力	2兆1,311億円	81	リコーリース	8,155億円
32	みずほリース	2兆1,207億円	82	日本製紙	8,089億円
33	ソニーグループ	2兆929億円	83	スズキ	7,623億円
34	ENEOSホールディングス	2兆369億円	84	マツダ	7,339億円
35	中国電力	2兆276億円	85	四国電力	7,303億円
36	アサヒグループホールディングス	1兆8,236億円	86	シャープ	7,249億円
37	ジェイエフイーホールディングス	1兆8,061億円	87	小田急電鉄	7,032億円
38	セブン&アイホールディングス	1兆7,612億円	88	AGC	7,008億円
39	豊田通商	1兆6,435億円	89	大阪瓦斯	6,883億円
40	電源開発	1兆5,763億円	90	ルネサスエレクトロニクス	6,797億円
41	ANAホールディングス	1兆5,028億円	91	ダイキン工業	6,658億円
42	東急不動産ホールディングス	1兆4,788億円	92	旭化成	6,590億円
43	西日本旅客鉄道	1兆4,778億円	93	王子ホールディングス	6,570億円
44	東海旅客鉄道	1兆4,300億円	94	キリンホールディングス	6,426億円
45	SBIホールディングス	1兆3,941億円	95	住友電気工業	6,347億円
46	Zホールディングス	1兆3,896億円	96	三菱マテリアル	6,295億円
47	ヒューリック	1兆3,602億円	97	電通グループ	5,848億円
48	住友化学	1兆3,511億円	98	イオンモール	5,824億円
49	豊田自動織機	1兆3,454億円	99	エヌ・ティ・ティ・データ	5,789億円
50	出光興産	1兆2,798億円	100	東芝	5,773億円

図表 C 第1回「借金王ランキング」調査／ランキング上位企業 安全性分析

順位	企業名	有利子負債	現預金	現預金 回転期間	借入依存度	自己資本比率
1	トヨタ自動車	25兆6,596億円	5兆1,009億円	2.2か月	41.2%	39.0%
2	ソフトバンクグループ	18兆5,130億円	4兆6,627億円	9.9か月	40.5%	26.1%
3	本田技研工業	7兆7,210億円	2兆7,580億円	2.5か月	35.2%	42.8%
4	日本電信電話	7兆6,243億円	9,357億円	0.9か月	33.2%	35.7%
5	日産自動車	7兆4,802億円	1兆8,718億円	2.9か月	45.5%	26.4%
6	オリックス	7兆0,419億円	1兆0,796億円	5.7か月	51.9%	22.9%
7	ソフトバンク	5兆6,926億円	1兆5,849億円	3.7か月	46.6%	22.5%
8	三菱商事	5兆6,443億円	1兆3,178億円	1.2か月	30.3%	35.1%
9	武田薬品工業	4兆6,354億円	9,662億円	3.6か月	35.9%	40.1%
10	三菱HCキャピタル	4兆5,287億円	2,942億円	3.9か月	75.4%	13.7%
11	東京電力ホールディングス	4兆4,958億円	4,549億円	1か月	37.2%	26.0%
12	三井物産	4兆4,930億円	1兆0,632億円	1.6か月	35.9%	38.5%
13	東京センチュリー	4兆2,193億円	2,175億円	2.2か月	75.3%	12.3%
14	関西電力	3兆8,916億円	2,493億円	1か月	48.2%	21.4%
15	東日本旅客鉄道	3兆6,125億円	1,981億円	1.3か月	40.5%	28.7%
16	楽天グループ	3兆5,234億円	3兆0,213億円	24.9か月	28.1%	5.0%
17	住友不動産	3兆2,483億円	1,883億円	2.5か月	57.3%	26.5%
18	伊藤忠商事	3兆1,553億円	5,440億円	0.6か月	28.2%	34.6%
19	九州電力	3兆1,080億円	2,342億円	1.3か月	60.6%	13.3%
20	三井不動産	3兆0,808億円	1,895億円	1.1か月	39.8%	34.3%

※背景色ありは、「現預金回転期間」が大きい上位5社、「借入依存度」が小さい上位5社、「自己資本比率」が大きい上位5社

図表 D 第1回「借金王ランキング」調査／EBITDA ランキング

順位	企業名	業種	EBITDA
1	トヨタ自動車	自動車製造業	3兆6,123億円
2	日本電信電話	通信業	3兆4,377億円
3	ソフトバンクグループ	通信業	1兆8,135億円
4	ソフトバンク	通信業	1兆7,148億円
5	KDDI	通信業	1兆4,983億円
6	ソニーグループ	電気機械器具製造業	1兆3,690億円
7	本田技研工業	自動車製造業	1兆0,620億円
8	日立製作所	電気機械器具製造業	9,369億円
9	東京電力ホールディングス	専門サービス業	7,077億円
10	任天堂	娯楽用品・玩具製造業	6,502億円
11	三井物産	各種商品卸売業	6,491億円
12	武田薬品工業	化学工業	6,019億円
13	日本たばこ産業	たばこ製造業	6,018億円
14	パナソニック	電気機械器具製造業	5,569億円
15	オリックス	物品賃貸業	5,544億円
16	関西電力	電気小売業	5,489億円
17	セブン&アイ・ホールディングス	各種商品小売業	5,220億円
18	富士通	情報サービス業	4,981億円
19	信越化学工業	化学工業	4,799億円
20	伊藤忠商事	各種商品卸売業	4,798億円

※背景色ありは、借金王ランキング上位TOP20の企業

図表 E 第1回「借金王ランキング」調査／有利子負債前年同期比 上位企業比較

順位	企業名	業種	今期有利子負債	前期有利子負債	増減
1	トヨタ自動車	自動車製造業	25兆6,596億円	20兆5,530億円	5兆1,067億円
2	ソフトバンクグループ	通信業	18兆5,130億円	13兆1,319億円	5兆3,811億円
3	本田技研工業	輸送用機械器具製造業	7兆7,210億円	7兆4,697億円	2,513億円
4	日本電信電話	通信業	7兆6,243億円	4兆2,203億円	3兆4,041億円
5	日産自動車	自動車製造業	7兆4,802億円	7兆7,999億円	▲3,197億円
6	オリックス	物品賃貸業	7兆0,419億円	4兆6,162億円	2兆4,257億円
7	ソフトバンク	通信業	5兆6,926億円	5兆823億円	6,103億円
8	三菱商事	各種製品卸売業	5兆6,443億円	5兆7,601億円	▲1,158億円
9	武田薬品工業	化学工業	4兆6,354億円	5兆933億円	▲4,579億円
10	三菱HCキャピタル	物品賃貸業	4兆5,287億円	4兆7,949億円	▲2,662億円
11	東京電力ホールディングス	電気小売業	4兆4,958億円	3兆9,461億円	5,497億円
12	三井物産	各種製品卸売業	4兆4,930億円	4兆9,266億円	▲4,336億円
13	東京センチュリー	物品賃貸業	4兆2,193億円	4兆2,026億円	167億円
14	関西電力	電気業	3兆8,916億円	3兆5,689億円	3,228億円
15	東日本旅客鉄道	鉄道業	3兆6,125億円	2兆8,360億円	7,765億円
16	楽天グループ	インターネット附随サービス業	3兆5,234億円	2兆7,630億円	7,604億円
17	住友不動産	不動産賃貸業・管理業	3兆2,483億円	3兆1,204億円	1,279億円
18	伊藤忠商事	各種製品卸売業	3兆1,553億円	2兆8,770億円	2,783億円
19	九州電力	電気小売業	3兆1,080億円	3兆58億円	1,022億円
20	三井不動産	不動産賃貸業・管理業	3兆0,808億円	2兆8,774億円	2,034億円

図表 F 第1回「借金王ランキング」調査 有利子負債前年同期比企業別増減ランキングベスト 20

順位	企業名	業種	増加額	順位	企業名	業種	減少額
1	ソフトバンクグループ	通信業	5兆3,811億円	1	武田薬品工業	化学工業	▲4,579億円
2	トヨタ自動車	自動車製造業	5兆1,067億円	2	三井物産	各種商品卸売業	▲4,336億円
3	日本電信電話	通信業	3兆4,041億円	3	キヤノン	情報通信機械器具製造業	▲3,994億円
4	オリックス	物品賃貸業	2兆4,257億円	4	日産自動車	自動車製造業	▲3,197億円
5	Zホールディングス	インターネット附随サービス業	1兆3,896億円	5	住友商事	各種商品卸売業	▲2,772億円
6	日立製作所	電気機械器具製造業	9,123億円	6	三菱HCキャピタル	物品賃貸業	▲2,662億円
7	協和キリン	化学工業	9,025億円	7	ENEOSホールディングス	エネルギー事業	▲2,639億円
8	アサヒグループホールディングス	飲料品製造業	8,804億円	8	三菱重工業	はん用機械器具製造業	▲1,349億円
9	ANAホールディングス	航空運輸業	8,164億円	9	飯田グループホールディングス	不動産業	▲1,228億円
10	セブン&アイホールディングス	各種商品小売業	7,782億円	10	富士フイルムホールディングス	事務用機械器具卸売業	▲1,211億円
11	東日本旅客鉄道	鉄道業	7,765億円	11	三菱商事	各種商品卸売業	▲1,158億円
12	楽天グループ	インターネット附随サービス業	7,604億円	12	トヨタ紡織	自動車関連製造業	▲1,116億円
13	昭和電工	化学工業	7,369億円	13	小松製作所	建設機械製造業	▲1,024億円
14	ソニーグループ	電気機械器具製造業	6,179億円	14	日本郵船	水運業	▲960億円
15	ソフトバンク	通信業	6,103億円	15	ルネサスエレクトロニクス	電子部品・デバイス・電子回路製造業	▲920億円
16	東京電力ホールディングス	電気小売業	5,497億円	16	村田製作所	電気機械器具製造業	▲902億円
17	ブリヂストン	ゴム製品製造業	4,814億円	17	富士通	情報サービス業	▲892億円
18	西日本旅客鉄道(株)	鉄道業	4,769億円	18	ローソン	飲料品小売業	▲775億円
19	ファーストリテイリング	衣料品製造業	4,700億円	19	コスモエネルギーホールディングス	エネルギー事業	▲720億円
20	デンソー	輸送用機械器具製造業	3,889億円	20	ヤマトホールディングス	道路貨物運送業	▲655億円
有利子負債増加企業合計			1,965社	有利子負債減少企業合計			1,186社

※背景色ありは、借金王ランキング上位TOP20の企業